

書名	まつりと神々の古代		著者名	笹生 衛／著			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-08423-9	本体価格	¥2,500	発売	2023/2/1
内容	古来、人間はなぜ目に見えない神や霊魂を感じ、その存在を信じて「まつり」を行うのか。文献史学や考古学はもとより、脳の認知機能に基づく認知宗教学や気候変動の復元などから、古墳祭祀や踐祚大嘗祭、御霊会、地域神社の祭礼などを再検討。神輿や山車、近年注目の塩津港遺跡にも言及し、神観・祭祀の古代からの変遷や「まつり」の現代的意味を解明。						

書名	日本古代王権と貴族社会		著者名	上村正裕／著			
出版社	八木書店	ISBN	978-4-8406-2259-2	本体価格	¥9,000	発売	2023/2/1
内容	奈良・平安時代の王権を構成した太上天皇・皇后・皇太后に注目し、権力構造の変質過程を活写。さらに王権を補完した貴族層にも注目した、新たな王権・政治史研究！						

書名	墨書土器と文字瓦		著者名	編集／吉村 武彦・加藤 友康・川尻 秋生・中村 友一			
出版社	八木書店	ISBN	978-4-8406-2261-5	本体価格	¥8,000	発売	2023/2/7
内容	地中から出土する文字史料が語る古代社会全国の発掘調査により出土した多様な墨書土器・文字瓦を読み解き、東アジア漢字文化圏での事例など、多彩な論点から古代社会を再現した最新研究						

書名	マンガでめぐる考古遺跡・博物館		著者名	今井 しょうこ／著			
出版社	創元社	ISBN	978-4-422-20168-9	本体価格	¥1,400	発売	2023/2/7
内容	前著『マンガでわかる考古遺跡発掘ワーク・マニュアル』で、発掘の現場と考古学の世界を存分に伝えた著者が、今度は全国の博物館や資料館を訪問し紹介。国立歴史民俗博物館や吉野ヶ里歴史公園など有名で大きな博物館から、千葉市加曽利貝塚博物館、板付遺跡、唐古・鍵考古学ミュージアム、榎原考古学研究所、國學院大學博物館、中津市歴史博物館などの個性的な資料館をロードムービータッチに描く、コミックエッセイ。資料も充実。						

書名	なないろ探訪記(4)		著者名	日生 マユ／著			
出版社	講談社	ISBN	978-4-06-530591-1	本体価格	¥660	発売	2023/2/13
内容	父の足跡を追って家出した少女カナは、祖母の家に住み、地元の中学に編入する。大学の農学部でペタキンの保護活動をするレイらの“ピオトープ”作りにも加わり、いつしかペタキンの保護活動をSNSで拡めたいと思うようになる。 一方、進路に迷うレイは単身で奈良の山奥の町を訪れ、真木という女性と出会う。仏師を目指すという彼女の口から、とある人物の名前が出てきて……！						

書名	まんが47都道府県研究レポート 近畿地方の巻 改訂2版		著者名	おおはしよしひこ／著			
出版社	偕成社	ISBN	978-4-03-544640-8	本体価格	¥1,800	発売	2023/2/27
内容	日本全国47都道府県を、地方別の6巻のまんがで楽しく紹介するシリーズの、最新の世界遺産や学習データを掲載した改訂2版。やんちゃでダジャレが好きな妖精「またさぼろう」と、旅行が好きな小学生の女の子「リョーコちゃん」が、北は北海道から南は沖縄まで旅をして、各地の地理や歴史、産業等をレポート。各都道府県の名所などの写真、学習に役立つさまざまなデータも満載、さらに巻頭の口絵にはカラー写真で、各都道府県の名所や世界遺産などを掲載。第4巻は、近畿地方の巻。三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県の2府5県を、まんがで楽しく紹						

書名	萬葉集研究 第四十二		著者名	編集／鉄野 昌弘・奥村 和美			
出版社	塙書房	ISBN	978-4-8273-0542-5	本体価格	¥14,000	発売	2023/2/28
内容	万葉集の研究は近來ますます盛んである。 本書は、学界第一線に活躍中の執筆者が、紙数の制限を受けず、テーマに縛られることなく、十分に驥足をのばし、心ゆくまで意を尽した、現万葉学の進歩に資する鋭利な各新稿論文を収める。 毎年1回発行予定						

書名	近世史を学ぶための古文書「候文」入門		著者名	佐藤孝之／監修 佐藤孝之・宮原一郎・天野清文			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-08433-8	本体価格	¥2,000	発売	2023/2/28
内容	江戸時代の古文書は、「候(そうろう)」という文字を頻繁に用いた「候文」で記述される。近世史を学ぶうえで、候文を理解し克服することは最重要の課題といえる。古文書に登場する主な用字・用語を文法によって分類。基本的な文例を豊富に収め、読み方と現代語訳を加える。文法を手掛かりにして近世古文書を読み解く、これまでにないガイドブック。						